

拝啓

春暁の候益々御清栄の段お慶び申し上げます。

御高承の通り昨年十月にはM R Aアジアセンターの建築が完成し、総理大臣はじめ各国指導者の御参加を得て開所式並びに世界会議を開催いたしました。今春は本邦における第二回目の世界会議が、来る四月二十一日より五月五日まで同センターにおいて開かれますので、ぜひ御来場のうえ、種々御指導御協力賜わりたく御招待申し上げます。

最近のアジアの情勢は、政情、経済ともに不安定で、日本の前途はきわめて多難なものが予想されます。また国内においても腐敗、汚職が各界に蔓延し、その実体はすでに国の存立の基礎をおびやかしつつあるといわれております。

今こそはっきりした目的感と明晰な道義感覚をもってすべての愚を徹底的に排除することが、国民としての急務であると信じます。

この会議ではこういった国造りの基本について意見を統一し、これを行動にうつしたと考えております。

また一方 オーストラリア及びニュージーランドとの本格的な経済協力関係を打ちたて日豪両国の経済規模の発展的拡大をはかりたいと考えます。これは世界各国が従来考えていながら仲々実現できていないアジア大陸への経済援助という目的を、濠洲資源の協同開発といった線に打出すもので、このため、英国からは国会議員、新聞記者その他を中心とする代表団を迎え、大会後、濠洲に行き、場合によっては日本からも代表を出してこれと同行し更に具体策を現地で協議したいと考えております。

他方、米国の世界政策はアジアや欧州で破綻をみせ、自由世界の結束に重大な影響を与えておりますが、今回は米国科学アカデミー事務総長はじめ財界人、有識者多数がこの会議に参加し、特に日本人と胸襟をひらいて語り合いたいと申し越しております。

アジア諸国からは中国の張群秘書長はじめ、ベトナム、フィリッピン、インド等各方面の指導者が来日いたしますが、こうした人々と手をたづさえ動搖するアジア諸国に対し政治経済のいずれの面においても私たちが具体的にできることから手をつけていきたいと考えております。

日本の考え方は、最近非常に重要視され、西欧諸国、アジア各国ともに日本から一つの示唆を得ようという真剣な気持がたかまっております。この世界会議は日本が世界づくりへの建設的な貢献をする第一歩であると存じますので皆様の御参加を特にお願い申し上げます。

日時 四月二十一日(日)より五月五日(日)まで

場所 小田原市小峰 MRAアジアセンター

宿泊 全期間の御出席を歓迎いたします。宿泊設備はアジアセンターをはじめ附近の旅館、ホテル等を予定しております。食事は三食共センターで用意いたします。

観光シーズンですので設備に限度がございますから、日時、期間等御指定の上、お早目に御連絡下さい。

費用 宿泊、食費等はその都度おしらせいたしますが、御請求はいたしません。御寄附は歓迎いたします。

申込先 東京都港区麻布富士見町一九 MRAハウス

同封の葉書を御利用下さい。

右御招待申し上げます。

敬具

昭和三十八年四月

世界会議招待委員会

委員長

十河 信二

加藤 シズエ

工藤 昭四郎

渡沢 敬三

周東 英雄

千葉 三郎

藤井 崇治

山際 正道

柳沢 鍊造

吉田 茂

(五十名程度)